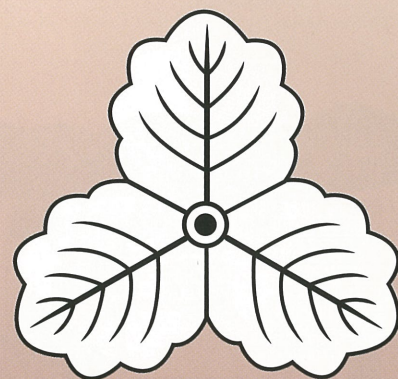


根來寺の由来

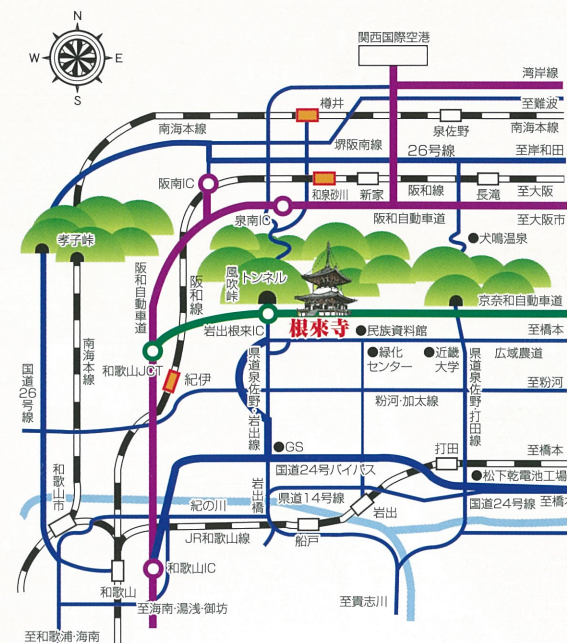
根來寺は、1132年（長承元）高野山に開かれた大伝法院を始まりとする新義真言宗の総本山です。開祖・興教大師覚饒（かくぼん）上人は、1095年（嘉保2）肥前国（現在の佐賀県）に生まれ、13歳のとき京都・仁和寺の寛助僧正について出家し京都・奈良で勉強に励んだのち20歳で高野山に登りました。当時の高野山は衰退期を迎えていたため、弘法大師の真言密教を正しく伝える必要を痛感し、鳥羽上皇の庇護を得て伝法会の再興を成し遂げ、教学の興隆に専念しました。しかし覚饒の名声があがるにつれ一部の高野衆徒との間に不和を生じ、荘園領地内の末寺・豊福寺がある根来に移り、1143年（康治2）この地で49歳の生涯を閉じられました。13世紀になると頼瑜僧正が新義教学の確立という大業をなしとげ、15～16世紀には全国から学問を志す僧侶が集まる大寺院として繁栄しますが、やがて天下統一を目指す豊臣秀吉と対立することになり、天正13年（1585）大塔などの主要伽藍を残して全山焼失しました。しかし江戸時代には徳川家の外護のもと、覚饒上人の霊跡として復興への道を歩み続けました。現在の境内は36万坪。四季の変化に富み桜・青葉・紅葉の季節は格別の趣があります。中世の佇まいを遺す境内は平成19年に国指定史跡になりました。根來寺は、日本の歴史・芸術などにとって大きく貢献した寺院です。



根來寺案内

た
た
ず
佇
め
ば
中
世

交通のごあんない



車の場合

- 大阪方面から／阪和自動車道泉南ICより岩出方面へ「風吹」交差点を左折
- 奈良・橋本方面から／国道24号線「備前」交差点を右折、「風吹」交差点を右折
- 京奈和自動車道「岩出・根来IC」より岩出方面へ「風吹」交差点を左折
- 和歌山市内方面から／国道24号線「備前」交差点を左折、「風吹」交差点を右折

電車・バスの場合

- JR阪和線と泉砂川駅より／和歌山バス「近畿大学」行き「根来寺」下車すぐ
- JR阪和線紀伊駅より／和歌山バス「粉河」行き「根来」下車、徒歩20分
- 南海本線樽井駅より／和歌山バス「近畿大学」行き「根来寺」下車すぐ

バス時間のお問い合わせは
和歌山バス那賀
TEL 0736-75-2151

史跡 新義真言宗総本山

根來寺

〒649-6202 和歌山県岩出市根来 2286
TEL. (0736) 62-1144 番
FAX. (0736) 62-1044 番



大 塔

国宝、天文16（1547）

「大毘盧遮那法界体性塔」を略して大塔と通称している。真言密教の教義を形の上で端的に表わしたもので、真言宗では「金胎不二」の精髓を示す塔として最も重要とされる。高さ40mを誇る木造建築のこの大塔は日本最大で唯一無二の国宝です。



大 門

県指定文化財、嘉永5（1852）

根來寺一山の総門で、大寺の表門にふさわしい大規模な二重門になっている。覚饒上人が百ヶ日秘法結願の日、五百仏面が地中より湧出したという奇瑞にならって両脇に仁王像、上層に釈迦如来を中心に十六羅漢像を安置している。



常光明真言殿

県指定文化財、文化元年（1804）「光明殿」と通称し、興教大師覚鑑上人のご尊像を奉安する。紀州徳川家第8代藩主重倫公のご母堂・清信院さまの発願により建立された。堂内には重倫公をはじめ紀州徳川家ゆかりの方々の尊牌がおさめられている。



名勝庭園

国指定名勝、江戸時代
紀州徳川家の別邸を移築した「名草御殿」に面する書院庭園と、光明殿南西の聖天池で構成される庭園。書院庭園は三段の滝や鶴亀島を配置した池泉式蓬莱庭園で、小堀遠州の作と伝えられながらも作庭者や年代は今のところ不明。しかしながら山の斜面を利用し、技巧を尽くした名園で造園の基本にすべてかかっている。



聖天堂

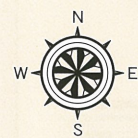
市指定文化財、江戸時代
聖天池に浮かぶお堂で、聖天（歓喜天）をお祀りする。享保21年（1736）に建立され、文化5年（1808）に現在の場所に移された。正面の朱塗の壇は根来塗としてつとに有名です。



行者堂

市指定文化財、江戸時代
修験道の始祖・役行者をお祀りするお堂。この地に元々あった豊福寺は、葛城巡拝34番目の宿に定められ、古くから葛城修験と深いつながりがあった。行者堂の西側にある九社明神は覚鑑上人が勧請された鎮守です。

ねごろ寺マップ



奥の院

江戸時代
新義真言宗の宗祖覚鑑上人のご廟所（お墓）。上人は康治2年（1143）12月12日に境内にある円明寺で入寂され、この場所に埋葬された。覚鑑上人を敬仰する多くの人々の信仰のよりどころとなっている。



大伝法堂

県指定文化財、文政9（1826）
根来寺の本堂に当り、本尊は3mを超える巨像の金剛界大日如来、脇侍は金剛薩埵・尊勝仏頂をお祀りしている（いずれも重要文化財、応永12年（1405）完成）。このお堂は真言宗の教義と法儀を習得するための最も大切な修行の道場です。



不動堂

県指定文化財、江戸時代
大聖不動明王を本尊とし、四大明王・文殊菩薩・愛染明王をお祀りしている。覚鑑上人が高野山上で危難にあった折り、身代りとなってお守りくださった故事により「身代り不動」「きりもみ不動」として靈験あらたかであり信仰をあつめている。八角円堂は全国的に珍しく、交通安全・厄除のご祈願で日々香煙がたえない。



大師堂

重要文化財、明徳2（1391）
真言宗をひらかれた弘法大師さまをお祀りし、毎月21日に御影供の法要が行われる。根来寺のなかで最も古い建物で、須弥壇とともに重要文化財に指定されている。



菩提院

江戸時代
覚鑑上人のご遺骸を火葬に付した荼毘所跡（だびしょあと）。御堂には阿弥陀如来立像を本尊とし興教大師の木像を安置している。